

OKINAWA GENERAL CONTRACTORS ASSOCIATION

# 沖建協会報



令和3年

1  
月号

No.608

## 今月号の主な内容

- ◆ 年頭のご挨拶
- ◆ 第6回役員会を開催
- ◆ 年末年始の現場パトロール実施



## 目次

### <年頭所感>

- (一社)沖縄県建設業協会 会長 津波達也…………… 1  
(一社)全国建設業協会 会長 奥村太加典…………… 3  
(独)勤労者退職金共済機構 理事長 水野正望…………… 4  
(公財)建設業福祉共済団 理事長 茂木繁…………… 5

### <NEWS>

- 第6回役員会を開催…………… 6  
安謝小学校、普天間小学校で職業人講話…………… 8  
総合的IT活用実践研修会を開催…………… 9  
恒例の献血キャンペーンを実施…………… 10  
支部活動報告…………… 11  
    県内各地で安全パトロール実施  
    那覇支部がオンライン講習会開催  
    北部支部がオンライン講習会開催  
    南部支部が防犯パトロール実施  
2020 イリオモテヤマネコと希少動物たちを守ろう！  
    絵画コンクール入賞作品発表…………… 16

### <メッセージボード>

- CIIC (一財)建設業情報管理センター…………… 17

### <お知らせ>

- 西日本建設業保証からのお知らせ…………… 18

### <建設雇用改善コーナー>

- 人材開発支援助成金の案内…………… 20

### <Message～後輩たちへ>…………… 21

### <事務局から>

- 協会の動き…………… 22  
今後の日程…………… 23

### <会員の異動>…………… 23

### <表紙写真>

#### 【青年部会第11回フォトコンテスト ～島の魅力～ 優秀作品より】

#### 〔人の部〕

題 名：朝焼けの海上現場へ  
向かう2人

撮 影 者：多和田 真彦

撮影場所：うるま市中城湾港



## 年頭のご挨拶

一般社団法人 沖縄県建設産業団体連合会  
 一般社団法人 沖縄県建設業協会  
 会長 津波 達也

新年あけましておめでとうございます。

令和3年の年頭にあたり、謹んで建設産業界の皆様にご祝詞を申し上げます。

昨年、5月の総会において、第11代の沖縄県建設業協会会長を拝命しました。歴代の会長・会員の思いを引き継ぎ、次代へとつないでいくため理事・会員、事務局と一体となって課題に取り組んでまいります。

昨年の建設産業を振り返りますと、1月に県内における「豚熱(豚コレラ)」の発生に際し、沖縄県との防疫協定に基づき初動から昼夜問わずの防疫活動(埋却地の掘削、運搬、埋却、汚染物の処分等)を会員、関係企業並びに多くの建設従事者の方々のご協力によって、発生から3か月余を以て封じ込めることができました。

3月には、「新型コロナウイルス感染症」の拡大が本県のリーディング産業である観光産業を直撃し、関連産業を巻き込み、観光立県とする本県経済、雇用へ大きな影響を与え、出口が見えない状況に、全産業で危機感が高まりました。

建設産業は、社会資本整備の担い手であると同時に、災害時には最前線で「地域の守り手」として、コロナ禍においても継続を求められる産業として事業を展開してきたところであります。

しかしながら、これまで民間投資に牽引されてきた県内建設産業は、消費者マインド低下が民間投資の減退を招き、公共投資による下支えが望まれる1年でありました。

そのような中で、建設産業は本県の基幹産業であり、特に地域雇用の担い手としての役割は

大きなものがあります。しかし、依然として人手不足問題が顕在化しており、その解決は全国的に見ても業界全体の大きな課題となっているところ です。

「新・担い手三法」では、適正な工期の設定等による週休2日の推進や働き方改革の推進、ICT活用による現場効率、生産性の向上、建設キャリアアップシステムの推進等、多くの課題があり、コロナ禍において建設産業は新たな形で「リモート化」へ加速しはじめており、それらの課題と時代の潮流にしっかり対応し、若者にとって明るい将来展望ができる「魅力ある業界」の構築が求められました。

また、毎年のように発生する自然災害は、社会資本整備の在り方と国土・県土の強靱化に向けた対応について、考えさせられた年でもありました。

特に、昨年の九州に襲来した7月豪雨水災害で犠牲となった皆様に哀悼の意を表するとともに被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

会員皆様には、九州各県への義援金にご協力頂いたことに深く感謝申し上げます。

その中で、我々建設産業が「地域の守り手」として、発災時における迅速な対応で応急復旧処理がなされ、その役割、必要性、重要性が示されたところでもあります。

建産連傘下各団体並びに建設業協会では、各専門分野において災害復旧支援協定に基づく活動として、情報収集、迅速な支援体制の構築とそれらに対応できる「人材育成」に努めています。

一方、担い手確保への取り組みでは、コロナ禍で県内新規学卒者の雇用縮小が危惧される中で、建設産業に特化した「建設産業合同企業説明会」の開催することができたことは、大変意義深いものであります。

また、未来の産業人材育成事業による「職業人講話」、フォトコンテスト等のイベントを開催する中で、コロナウイルス感染症拡大が懸念されたことから「おきなわ建設フェスタ」を開催できなかったことは大変残念でありました。

迎えました新しい年は、建設産業が「観光産業のツール」として、道路整備をはじめ、橋梁整備、復帰50年を目前に「経年劣化」による公共施設等への対応を担うとともに、全ての発注者が、コロナ禍においても公共投資を削ることの無いよう当初予算の拡大確保を求め、先行き不透明な県経済の牽引役として役割を果たしていきたいと考えております。

更に、改正品確法の理念の下で「建設企業の適正な利潤の確保」のための取り組みを「発注者責務」として履行することを求めるとともに、建設産業の「好循環」から、地域経済の活性化が図られるよう事業を展開してまいります。

どうぞ、関係行政機関はもとより、関係各位のご理解とご指導、会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

結びに、建設産業界の飛躍発展、関係各位はじめ会員皆様の益々のご健勝と新しい年が希望に満ちた明るい年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のごあいさつと致します。





## 年頭のご挨拶

一般社団法人 全国建設業協会  
会長 奥村 太加典

令和3年の新春を迎え、謹んで年頭の挨拶を申し上げます。

平素は、全建の事業活動に対し格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、年明けから世界的に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症により、わが国の景気は急激に落ち込み、建設業においても民間建設需要の低迷など厳しい影響を受けました。感染の拡大が収束する兆しは未だ見えませんが、落ち込んだ景気を早急に回復させるためには、感染拡大の防止や医療体制の充実に加え、日本経済全体の活性化や強靱な国土づくりに資する公共投資を機動的に推進し、内需の創出とそれによる雇用拡大を図ることが不可欠です。

さらには、昨年も令和2年7月豪雨や台風9号・10号などの大規模災害が発生し、多くの尊い人命や貴重な財産が失われました。わが国の脆弱な国土における防災・危機管理体制の強化と社会資本整備の重要性は更に高まっており、政府による「防災・減災や国土強靱化のための緊急対策」は、今後も人々が安全に安心して暮らしていける持続可能な社会づくりのための予算として、将来的なビジョンを念頭に計画的かつ安定的に確保されることが必要です。

一方、このコロナ禍は、わが国の社会や経済のあり方にも変化をもたらしました。大都市圏への過度な集中による様々な弊害が顕在化し、地方分散型社会への転換について、その必要性が改めて説かれています。地方への移住・定着を進めるには、テレワークの推進だけでは十分とは言えず、地場産業の育成とともに、安心して豊かな暮らしを営むために必要な生活基盤

の整備が欠かせません。

私ども地域建設業は、人々の安全・安心を守る「地域の守り手」としての役割に加え、ポスト・コロナの新たな時代においては、いわば「新しい地域の創り手」としての役割も務めていかなければならないと考えております。これらの社会的使命を果たしていくため、引き続き、中長期的な視点から社会資本整備の着実な推進を政府や関係機関などへ広く訴えていくとともに、経営基盤の強化や、担い手の確保・育成、生産性向上、働き方改革など、克服すべき諸課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

本年も、全建は47都道府県建設業協会並びに会員企業の皆様方と一体となり、地域建設業発展のため全力で取り組む所存でございますので、ご理解とご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様方の益々のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、私の年頭の挨拶とさせていただきます。



## 年頭のご挨拶

独立行政法人 勤労者退職金共済機構  
理事長 水野 正望

令和3年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様には、昨年も建設業退職金共済制度(建退共制度)の運営に多大なご支援、ご協力を賜りましたことを、厚く御礼申し上げます。

建退共制度は、建設技能労働者など建設工事の第一線で働く労働者の皆様の福祉の増進と雇用の安定を図り、建設業を営む中小企業の福祉の振興を目的として、中小企業退職金共済法に基づき、昭和39年10月に創設され、本年度で57年目を迎えます。お蔭様で、当退職金共済制度への加入契約者数は17万事業所、被共済者数は217万人を数え、これまで累計で250万人の退職者に対して1兆8千億円の退職金をお支払いしてまいりました。退職金を受け取られた皆様、事業主の皆様からは退職金があって本当に良かったという声を頂いており、建退共は現場で働く方々にとって重要な制度になっております。

建設業界はこれまで社会に大きく貢献してまいりましたが、近年の異常気象による災害復旧、社会インフラの老朽化対策など時代のニーズに引き続き対応するとともに、新型コロナウイルス対策を講じた中での工事の施工など、新たな課題にも取り組んでいるところです。こうした中で、建設業が地域経済の中核を担う魅力ある産業として持続的に発展していくためには、業務の効率化を図るとともに長時間労働の是正、技能・経験にふさわしい処遇等の働き方改革を推進することで、建設労働者の雇用の安定と福祉の充実など労働環境を整備していくことが不可欠であると考えております。

また、建設業界においてもITの活用は不可欠であり、建退共制度においても、掛金の納付方法について現在の証紙貼付方式に加えて、電子申請方式を導入することとしており、昨年10月から試行的に実施した上で、令和3年3月末までに全面的・本格的に実施すべく、着実に準備を進めております。この新たな電子申請方式は、事業主の皆様の事務の合理化につながるだけでなく、労働者の皆様が確実に退職金を受け取っていただくための有効な手段と考えておりますので、積極的に利用していただくようお願いいたします。

本年も、建退共制度の安定的で効率的な運営に努め、確実な退職金の支給、掛金の適正納付に一層努力して参る所存でございますので、建退共制度への加入と証紙の適正な貼付や電子申請方式の利用促進につきまして、更なるご理解、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様方のご健勝とご隆昌を心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



## 年頭のご挨拶

公益財団法人 建設業福祉共済団  
理事長 茂木 繁

令和3年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、私どもが実施する建設共済保険が建設業界の自主的な共済制度として誕生してからお陰をもちまして、昨年11月に50年となる大きな節目を迎えることができました。これもひとえに、ご契約者の皆さまと全国建設業協会並びに都道府県建設業協会の皆さま方のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

今年も中核の事業である「建設共済保険事業」や同事業により保険金の支払いを受けた被災者の遺児等に対して奨学金を支給する「育英奨学事業」等の公益目的事業を着実に実施するとともに、平成27年に開始してから7年目を迎える全建及び都道府県建設業協会とのタイアップ広告による戦略的広報活動を引き続き展開し、担い手確保・育成に向けた建設業の魅力の発信と建設共済保険制度のPRを一層強化して参りたいと考えております。

平成28年度から開始した「労働安全衛生推進事業」では、毎年頒布する安全衛生用品の見直しに加えて同用品群の中から選択いただける対象層を拡げるなど改善を図ってまいりましたが、令和2年度からは、安全衛生用品のカタログから自由に選択いただける新たな仕組みを導入しております。今後とも、ご契約者の皆さまの安全衛生対策に少しでもお役立てできれば幸いとと考えております。加えて、女性の就労環境向上のため建設工事現場に「女性専用トイレ」を導入する場合には10万円を上限とする助成を行っておりますが、令和2年以降は同様に「女性専用更衣室」の設置まで対象範囲を拡げ

ております。さらに、建設業における災害防止の観点から実施している労働安全衛生推進者表彰は、令和2年度も230余名を表彰し、そのうち170を超える方々を当団のホームページ上で「安全の守り手」として永く顕彰させていただくこととしているほか、地域に開かれた教育訓練施設等の整備助成、全建との共催で開催している労働安全衛生講習会に対する支援を行っているところです。

本年も全建及び都道府県建設業協会並びに建設関係団体との連携を一層密にし、当団が現在直面している課題に適切に対処することにより建設共済保険制度の安定的運営に配慮するとともに、一昨年9月に策定して以後毎年改定を行っている協会毎の「加入促進戦略」に基づき、建設共済保険の普及推進活動を積極的に展開し、企業規模を問わずご加入いただく方の裾野を拡げながら、建設共済保険事業はもとより、育英奨学事業、労働安全衛生推進事業、一般助成事業等の各種事業を通じて、建設業界の発展と建設労働者の福祉の増進に向けた事業の充実に役職員一同努めて参りますので、引き続き倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さま方の益々のご隆昌とご健勝を心からお祈り申し上げ、ご挨拶と致します。

# 公共事業の予算確保を求めていく

## 第6回役員会を開催



議事やその他事項について審議した

令和2年度第6回役員会を12月8日、那覇市の沖縄ハーバービューホテルで開催した。

役員会の冒頭、津波達也会長は「新型コロナウイルス感染症の影響から、民間工事の落ち込みが懸念されている。今後は経済や雇用の安定の面からも公共事業の予算確保が重要となってくる。協会として予算確保について強く求めていく必要がある」と挨拶し、次年度予算などで公共投資の事業・予算の拡大確保に取り組んでいく姿勢を示した。

議事では、会員資格の継承2件について審議・承認したほか、毎年開催していた「沖建協新春の集い」について、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とすることが提案され、承認された。

その他事項では、自民党一日政調会要望に対する回答について報告があった。一日政調会は今回、コロナ対策として、関係団体から要望事項を书面回収。自民党沖縄県支部が要望事項をもとに関係機関に要請を実施し、その結果を報告するとしていた。要望事項は沖縄県建設産業団体連合会として「一括交付金を平成27年度水準(ハー



議事を進行する津波会長

ド：当初予算811億円、ソフト：806億円)の確保」「中南部都市圏への鉄道の先行導入について」の2点について要望。関係機関に対する要請の結果、一括交付金は「令和3年度概算要求においては前年度予算額を上回る額(ハード：528億円、ソフト：558億円)を要求」との回答が示されたが、実際は、2年度要求額に対する3年度の要求額はソフト、ハード交付金を合わせると101億円減の要求額となっていると説明。一括交付金については、概算要求時の要求額を下回る予算額が続いているとする資料も示されたほか、鉄道先行導入について



も内閣府によるB/Cが1を下回る指摘とその改善を指摘するコメントが示されるなど、要望事項については実質ゼロ回答となる状況となっていることが報告された。公共投資については、コロナ禍の民間投資の落ち込みが想定されることから、公共投資の予算確保が建設業界だけでなく、県全体の景気動向にも大きな影響を与えることから、引き続き、そのまま来年度予算における公共投資予算及び一括交付金の現状を、各選出県議会議員への周知を行うよう、理事に呼びかけが行われた。

議事では、10月28日に行われた青年部会と沖縄総合事務局との意見交換会について、出席者や提案議題に対する回答を報告。青年部会の献血キャンペーン(12月9日・10日開催)の告知や第12回フォトコンテスト～島の魅力～の表彰式(11月16日開催)の報告も行われた。

このほか、「新入社員育成訓練等並びに実践型人材養成システム大臣認定申請」に係る説明会(12月21日開催)、「建設業における総合的IT活用実践研修会」(12月15日～17日開催)、「令和2年度通常総会までの経理事務処理について(予定)」の報告が行われた。

結びに呉屋明副会長が閉会の挨拶を行い、2020年最後の役員会を結んだ。引き続き開催された懇親会では、津波会長、仲本豊副会長、新里英正副会長をはじめ、理事らが参加。1月のCSF(豚熱)から始まり、世界的にひろがったコロナ禍に翻弄された2020年を振り返るとともに、来年に向けて課題や意欲を再確認した。

#### ○議事

1. 会員資格の継承について(2件)
2. 沖建協「新春の集い」について



閉会の挨拶をする呉屋副会長

#### ○その他事項

1. 自民党1日政調会要望に対する回答について
2. 沖総局と青年部会との意見交換会(報告)
3. 青年部会「献血キャンペーン」の開催について
4. 青年部会「第12回フォトコンテスト～島の魅力～」(報告)
5. 新入社員教育訓練等の大臣認定申請説明会について
6. 建設業における総合的IT活用実践研修会12月開催
7. 令和2年度通常総会までの経理事務処理について



# 子ども達に建設業の魅力伝える

## 安謝小学校、普天間小学校で職業人講話

沖縄県が実施している「未来の産業人材育成事業」の一環である職業人講話が11月26日、那覇市の安謝小学校で開催された。

講師は、会員企業の大晋建設(株)から大城壮司社長が務め、同校6年生の生徒たちに対して建設業の魅力を伝えた。大城社長は、武田信玄や加藤清正ら歴史に登場する武将を事例に土木・建築の歴史などを紹介しながら、建設業の仕事について分かりやすく説明した。また、現場の写真を示しながら現代の施工の流れを解説。「苦勞することも多いが、建築・土木工事で作ったものは人の生活の役に立つもので、やりがいを感じられる素敵な仕事だ」と話した。

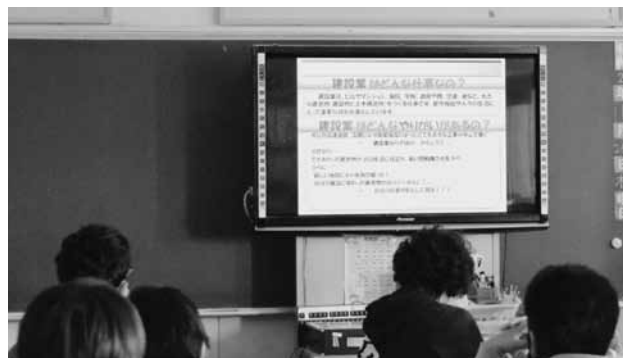
講話を聞いた児童からは「建設業は大変な仕事だけど、やりがいのある仕事だということが分かった。お父さんが建設業で働いているので、帰ったら話を聞いてみる」と目を輝かせた。

12月2日には、宜野湾市の地域キャリア教育支援業務として、普天間小学校で6年生の生徒たちを対象にした職業人講話が開催され、会員企業の光南建設(株)から安次富長邦氏が講師として参加して、建設業の魅力を伝えた。

安次富氏の講話を聞いた生徒たちからは「建設業で使う道具の種類はどれくらいあるのか」「1年でどれくらいの工事件数があるのか」「1つの工事にはどれくらいの人に関わるのか」といった工事内容に関するものや「給料はいくらですか」「これまでの工事の最高金額はいくらですか」といったお金に関するものなど、様々な質問があり、建設業に対する関心を育んだ。



武将らの建設事業などを紹介する大城社長



建設業について学ぶ安謝小学校のこどもたち



子どもたちに建設業の魅力を解説する安次富氏



普天間小でも多くの生徒が講話に耳を傾けた

## 3日間でITによる業務の効率化学ぶ

### 総合的IT活用実践研修会を開催

11月25日から27日までの3日間の日程で「建設業における総合的IT活用実践研修会」を建労センターで開催した。研修会はITによる業務の効率化・生産性向上を目指して、クラウドの有効活用などについて実践的に学ぶCPDS対象の研修で、(株)ジーサクセスの北野雅史氏が講師を務め、会員企業から7人が参加した。

1日目はWindowsのネットワーク環境の構築などを実際にパソコンを操作しながら学んだ。2日目は業務で必要となる写真や図面の管理などのほか、最新のセキュリティなどについて学び、3日目はクラウド環境を応用したリモートワークや情報収集などについて、最近の動向に対応した内容で講義が行われた。

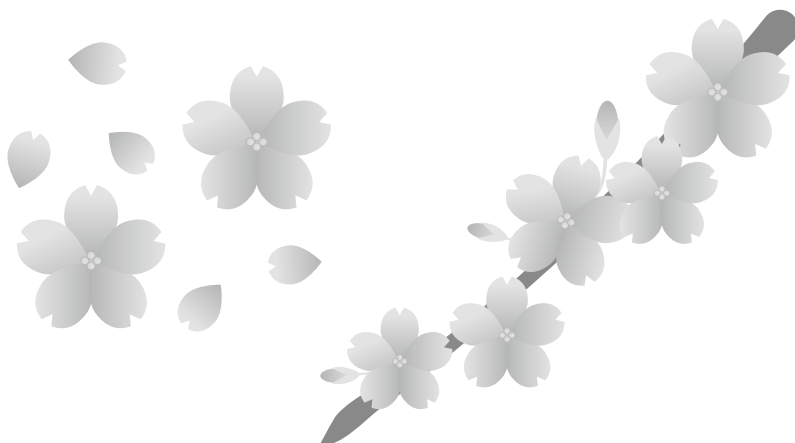
北野氏は新型コロナウイルス感染症の拡大により、人に会わずに業務を完結させるリモートワークができる環境整備が必要となるなど、業務を取り巻く環境が変化していることを説明した上で「会わなくても仕事ができる状況が当然になり、リモートワークでも情報の共有と正確性が求められる」とIT技能や知識の重要性を指摘。参加者は実際にパソコンを操作しながら、実践的な内容を学んだ。



パソコンを操作しながら業務の効率化を学んだ



講師を務めた北野氏



# 恒例の献血キャンペーンを実施

## 青年部会が業界のイメージアップを図る

青年部会(黒島一洋部会長)は、年末恒例の献血活動を12月9日と10日に実施した。青年部会による献血活動は、冬場の血液不足解消などを目的に16年間に渡って実施しているもので、今回は2日間で211人が献血に協力した。

初日となる9日は、那覇市の天久りうぼう薬市駐車場で開催となった。献血開始前のオープニングセレモニーで黒島部会長は「青年部会の献血活動にはこれまでに2000人以上に協力していただいた。今年度はコロナ禍での開催で、感染防止対策を徹底し、2日間にわたり微力ながら血液不足の解消を図り、さらなる社会貢献と建設業界のイメージアップに努めたい」と挨拶した。

また、沖縄県赤十字血液センターの上里裕昭事業部長は「献血者が減少するこの時期に、建設業界の皆さんが献血活動に協力してくれることは担当者の励みになっている」と16年続く取組みに感謝。「今年は新型コロナウイルスの影響で献血協力者が減っている。必要な医療機関に安定的に血液を届けていくため、今後も協力をお願いしたい」とさらなる支援を呼びかけた。

9日は雨の振る中での開催となったが、那覇市や周辺市町村から129人が献血に協力した。

10日はうるま市のイオン具志川ショッピングセンターで献血キャンペーンを実施。中部地区の会員ら82人が駆けつけて献血に協力した。参加者の一人は「社会貢献出来ればと思い、毎年献血に参加している。これからも協力していきたい」と話した。

県内の献血活動は、新型コロナの影響により献血イベントが開催が見送られるなど、全体として献血者が減少している。献血の際には感染防止に対する様々な取り組みを実施しており、引き続き、献血への協力を広く呼びかけている。



挨拶する黒島部会長



悪天候のなか献血の受付をする参加者



血液不足解消に向けて献血する参加者



中部地区でも多くの会員が献血に協力した

## 県内各地で安全パトロール実施 年末年始の安全対策を確認

年末年始の労働災害防止のため、建設業労働災害防止協会では12月1日から翌年1月15日までを「建設業年末年始労働災害防止強調期間」と定め、期間中は県内各管内ごとに建設現場安全パトロールが実施されている。今年も12月に入り「無事故の歳末 明るい正月」のスローガンの下、那覇・沖縄・北部・宮古・八重山の各管内でパトロールが行われた。

### ■那覇・南部・浦西合同安全パトロール

12月3日、那覇労働基準監督署(松野豊署長)と建災防那覇分会(那覇支部)、浦添・西原分会(浦添・西原支部)、南部分会(南部支部)合同による建設工事現場安全パトロールが開催された。

パトロール出発前に、那覇第二地方合同庁舎1号館で松野署長は「今年はコロナウイルス感染拡大防止の観点から、夏場のパトロールは中止となったが、建設業における死亡災害の割合は増加傾向になっており、安全対策の徹底が必要な状況と言える。墜落防止やクレーン・重機などの安全対策にもしっかり目を向けてもらいたい。併せて、良い安全対策が講じられていると感じたところは、きちんと指摘して褒めてもらいたい」と挨拶した。

続いて参加者は1号館前に移動。浦添・西原分会長を務める名嘉太助浦添・西原支部長が「年末年始の安全確保に向けて、現場の安全対策をしっかりチェックしていく」と挨拶し、参加者全員で指差唱和を行った。その後、約20人の参加者らは4班に別れてパトロールに出発した。

1班是那覇市内の「那覇市新文化芸術発信拠点施設工事」と「天妃小学校屋内運動場及びこども園改築工事」の現場を視察。工事の進捗状況などを聞きながら、現場の安全対策をチェックした。

2班は「神原小学校屋内運動場等改築工事」と「ライオンズ那覇三原マスターズゲート新築工事」。3班は「鹿島建設オフィスビル新築工事」と「比嘉工業(株)新社屋新築工事」。4班は「県営南風原第二団地建替工事(第2期)」などの現場をパトロールした。



パトロールについて総括をコメントする松野署長(左端)と名嘉浦添・西原分会長(同3人目)、参加者の皆さん



那覇市新文化芸術発信拠点施設建築工事のパトロールの様子



天妃小学校屋内運動場の現場状況を総括する参加者

## 支部活動報告

## ■宮古分会合同安全パトロール

12月7日、宮古労働基準監督署(小池雅弘署長)と建災防宮古分会(分会長・平良正樹宮古支部長)は官民合同パトロールを実施した。

平良地方合同庁舎で行われた出発式で小池署長は「県内の全産業の死亡労働災害は今年10月末時点で7人が犠牲になり、そのうち6人が建設業となっている。宮古管内では休業4日以上労働災害の件数は昨年を下回っており、建設業は前年と比べると大幅に減少している。しかし、例年労働災害が増える師走は油断できない」と指摘。「本日のパトロールでは墜落・転落災害、建設機械・クレーン等災害、倒壊・土砂崩壊災害の3大災害防止対策を中心に現場の安全管理状況も確認してもらいたい」と挨拶した。

続いて平良分会長は「師走になると事故が多発する傾向があると言われている。ここ数日は天気も悪く、強い雨・風で滑りやすくなっているところもあるので気をつけてもらいたい。今年はコロナ



パトロール前に指差唱和を行う参加者対策にも配慮し、狭い室内での作業では人との接触も懸念される。安全とコロナ対策に気をつけてパトロールしたい」と述べた。

引き続き、参加者全員で指差唱和を行い、参加者は1班が「伊良部屋外運動場整備工事(メインスタジアム、外構、その他施設等)」の現場などをパトロール。2班も島内の2～3現場をパトロールした。

## ■北部分会合同安全パトロール

12月10日、名護労働基準監督署(比嘉健三署長)と建災防北部分会(分会長・仲程俊郎北部支部長)は令和2年年末パトロールを実施した。

パトロール出発式で比嘉署長は「当所管内の労働災害発生状況は11月末時点で昨年より2件の増加となっている。特に建設業界の増加は8件で死亡災害も発生しており憂慮される事態となっている」と危機感を示した。また、現場におけるコロナウイルス感染防止対策についても「夏場は熱中症対策などからマスク着用が困難だったが、冬場は室内作業員のマスク着用もお願いしたい」と感染防止対策のチェックも呼びかけた。

パトロールでは参加者が3班に別れて、1班は名護市役所より北の「エレミヤ学童保育新築工事」など、2班は名護市役所より南の「沖縄自動車道幸喜橋床版取替工事」などの各工事現場を視



エレミヤ学童保育のパトロールの様子。3班は本部町・今帰仁村のホテルや「瀬底一週線道路改良工事(その6)」などの現場をパトロールした。

## ■八重山分会合同安全パトロール

12月11日、八重山労働基準監督署(上地克昌署長)と建災防八重山分会(分会長・米盛博明八重山支部長)は年末年始官民合同現場パトロールを開催した。

八重山建設会館で行われた出発式では上地署長、米盛分会長が挨拶したあと、参加者全員で指差唱和を行ってパトロールに出発。最初にの参加者全員で「石垣港(新港地区)岸壁(-10m)築造工事」の現場を視察。その後、建築の部と土木の部に分かれてパトロールした。

建築の部では「石垣小学校校舎新增築工事」などの5現場をパトロールした。土木の部では「臨港道路新港2号線道路改良工事(R2-1)」、「東1号污水幹線管渠布設工事(2-2)」など6つの現場を



指差唱和を行う参加者パトロールし、各現場の安全対策やコロナウイルス感染防止対策などをチェックした。

## ■安全パトロール 中部分会

12月15日、建災防中部分会(分会長・津波克守中部支部長)は年末年始の建設現場安全パトロールを実施した。

中部建設会館で行われた出発式では、津波分会長は「普段から、職場の安全衛生には十分に気を配っていることと思う。今日のパトロールでは各現場を回り、現場における安全管理をしっかりと確認し、明るい正月を迎えられるようにしたい」と挨拶したあと、パトロールに際しての注意事項や担当区域の確認を行った。

続いて参加者全員で指差唱和を行ってパトロールに出発。14人の参加者は中部の8市町村を4班で分担し巡回。北谷町ニライ消防本部新築工事などの現場を視察した。



パトロール参加者の皆さん

## 支部活動報告

## ■那覇支部がオンライン講習会開催

那覇支部(長山宏支部長)は12月8日、「公共工事における施工計画書について」のオンライン講習会を開催した。

講習会では、合同会社クロソイドの戸所俊雄氏が講師を務め、支部会員から34人が参加した。

講習では①公共工事の総合評価落札方式について、②入札前施工計画書の作成時の留意点、③入札前施工計画書作成実習(・構造物工事の実例作成見本・環境管理の実例作成見本・実際の添削例)、④『土木工事書類作成マニュアル(案)』に基づく施工時施工計画書の説明—など、公共工事の施工計画書について解説・紹介した。



Web上で開催された講習会の参加者

## ■北部支部がオンライン講習会開催

北部支部(仲程俊郎支部長)は12月10日、合同会社クロソイドの戸所俊雄氏を講師に迎えて「コンクリート施工の留意点～ひび割れの少ないコンクリートを目指す!」と題するオンライン講習会を開催した。

講習では「施工管理各論」と「コンクリートの良質な施工について」の各項目で実施された。「施工管理各論」では施工管理の目的や品質管理の基本的な考え方について解説。「コンクリートの良質な施工について」はコンクリートの歴史から基本的事項や製造の基本などのほか、コンクリートひび割れの仕組みなどを紹介した。

講習会はCPDS認定プログラム(7ユニット)で、支部会員37人が受講した。



Web講習会を受講する参加者



## ■南部支部が防犯パトロール実施

南部支部与那原分会(川平賀継分会長)は12月15日、与那原町東浜地区で支部初となる防犯パトロールを実施した。

パトロール前に与那古浜公園で行われた出発式では与那原警察署生活安全課の竹本真由美巡查長が「今回、支部として初めてのパトロールを行うということで、交番や交通課の署員も一緒に参加している。分からないことがあれば気兼ねなく聞いてほしい」と挨拶した。

注意事項などが説明されたあと、分会企業から参加した13人と与那原署の関係者4人と与那古浜公園から東浜地区を集会したあと、橋を渡って、与那原中学校や知念高校周辺を經由して、公園に戻るルートでパトロールを行った。

支部単独によるパトロールは今回が初めてだが、パトロールの基本的な目的は、犯罪者を捕まえることではなく、地域の連帯感をもって犯罪の機会を与えないことであり、具体的な活動として子どもの見守り活動を行うとしており、参加者は公園を利用する子ども達に声かけを行った。



子どもたちと挨拶を交わすパトロールの参加者



支部初のパトロールには与那原分会及び与那原警察署の署員が参加した



## 2020 イリオモテヤマネコと希少動物たちを守ろう！



# 絵画コンクール入賞作品発表



【最優秀賞】【小学生低学年の部】

「みんなでまもろう大切なしぜん」



荒木 経晴 さん (小浜小学校2年)

【最優秀賞】【小学生中学年の部】

「40 キロで守れる命」



慶田盛 一太 さん (西表小学校4年)

【最優秀賞】【小学生高学年の部】

「守ろう西表島の自然」



多宇 虹南 (大原小学校5年)

【最優秀賞】【小学生中学年の部】

「まもろう！みんなで」



仲嵩 沙姫 さん (黒島中学校3年)

八重山支部(米盛博明支部長)は11月27日、西表島大原港ターミナルで「2020イリオモテヤマネコと希少動物たちを守ろう！絵画コンクール」の表彰式を行った。

同コンクールは八重山支部や竹富町との共催で開催されたもので、今回は「ゆっくり行こう、島のみち。みんなでまもろう、島のいのち」をテーマに竹富町内の小中学校10校から106点の応募があり、その中から最優秀賞4作品、優秀賞1作品、佳作20作品が選出された。表彰式では米盛支部長から各賞の受賞者に表彰状と副賞が贈られた。

最優秀賞の4作品は大原港・上原港の固定式看板に採用されるなど、西表島の貴重な自然保護のPR活動に活用される。



受賞者の子どもたちと関係者の皆さん

## 経営状況分析は、信頼と実績の CIIC建設業情報管理センターにお任せください

豊富な  
実績

永年の処理実績に裏付けされ、  
建設企業様から高い評価を頂戴しています。  
適正、的確な処理により、安心してお任せ  
いただけます。



迅速な  
処理

迅速な処理を心がけ、申請いただいてから、  
3営業日以内に結果通知書を発送しています。

※昨年度実績平均2.9日。(申請内容、お問い合わせの内容により、お時間をいただく場合もあります)

どなた様にも親切丁寧な対応を心がけています  
ぜひ、CIICの経営状況分析をご利用ください

### 「なんでも経審Plus」をリリースしました。

経営事項審査、建設業許可の変更届作成など、  
行政庁に提出する申請書でお困りはありませんか？

申請書類が簡単に作成できるソフト

「なんでも経審Plus」をお試ください。

このソフトはCIICホームページに公開しており、  
どなたでも無料(年会費、使用料など一切不要)で  
ご利用いただけます。

ダウンロードしてお気軽にご利用ください。

操作がかんたん

ユーザー  
登録不要

完全無料

「なんでも経審Plus」 サポート専用ダイヤル 03-5565-6236

経営状況分析は“信頼と実績の” 登録経営状況分析機関 登録番号1

CIIC 一般財団法人 建設業情報管理センター 九州事務所

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3丁目14番18号(福岡建設会館6階) TEL 092-483-2841

【アドレス】<http://www.ciic.or.jp/> 又は、

当財団は、情報セキュリティ  
マネジメントシステム(ISMS)  
に関するISO規格(27001)  
の認証を取得しています。



## 沖縄県内の公共工事動向 (令和2年11月分)

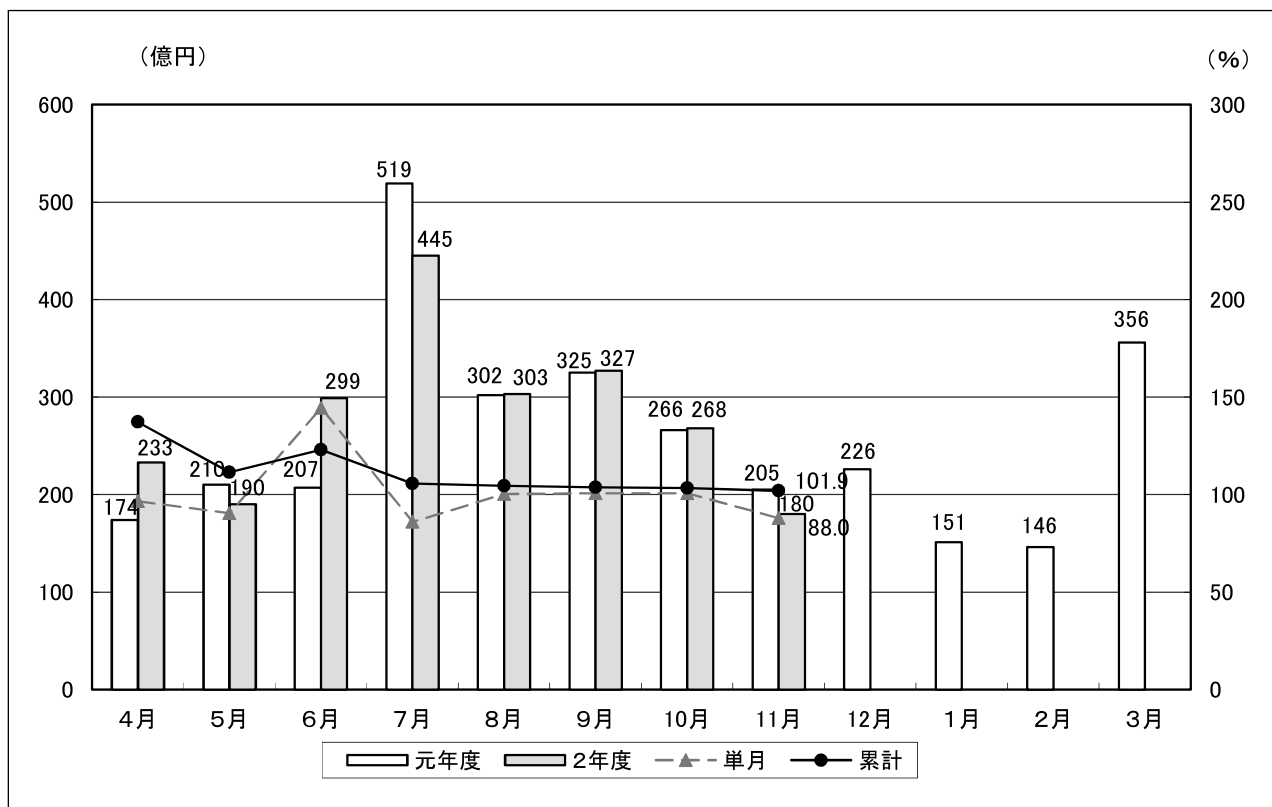
西日本建設業保証(株) 沖縄支店

### ▼ 概況

(単位：件、百万円、%)

	当 月		前年同月比		累 計		前年同期比	
	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
国	33	6,105	122.2	103.5	355	72,829	107.9	117.2
独立行政法人等	5	266	125.0	58.7	26	3,520	108.3	90.7
沖縄県	73	5,246	105.8	140.7	716	55,019	101.7	111.4
市町村	139	5,694	79.4	58.4	1,212	86,119	97.3	89.4
その他	14	763	107.7	107.6	96	7,523	92.3	83.6
<b>令和2年度</b>	<b>264</b>	<b>18,076</b>	<b>91.7</b>	<b>88.0</b>	<b>2,405</b>	<b>225,014</b>	<b>99.9</b>	<b>101.9</b>
令和元年度	288	20,544	104.0	128.2	2,407	220,722	99.7	109.7
平成30年度	277	16,031	97.2	69.3	2,414	201,277	94.9	87.7
平成29年度	285	23,134	82.1	96.3	2,543	229,592	91.1	107.7
平成28年度	347	24,026	95.1	162.2	2,791	213,104	100.0	101.8

### ▼ 月別請負金額、単月・累計前年対比の推移



## 工事後半の資金繰りをサポート! 中間前払金のご案内

当初の前払金

40%

+

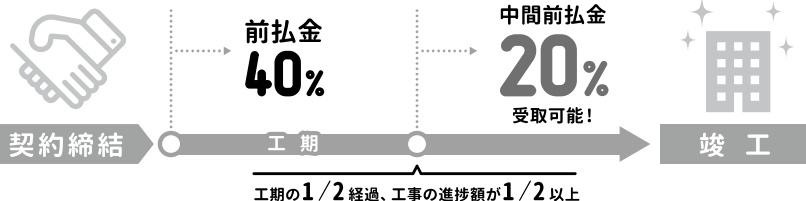
中間  
前払金

20%

簡単な手続きで工事代金を早く受け取れます!

中間  
前払金  
とは?

当初の前払金(請負金額の40%)に加え、  
さらに請負金額の20%を受け取れます。



工期が長くても  
安心ね!



### よくある質問 Q & A

Q どのような場合に請求できるの?

A 工期の1/2を経過し、工事の進捗額が1/2以上となった場合です。

Q 手続きは面倒じゃないの?

A 手続きは簡単です。当社に次の書類をご提出ください。

- 保証申込書
- 前払金使途内訳明細書
- 発注者が発行する認定調書(写)

Q 出来高検査はあるの?

A 部分払いのような出来高検査はなく、現場を止める必要はありません。

Q 保証料はどれくらいかかるの?

A 保証料率は一律0.065%と非常にローコストです。

一例▶ 請負金額5,000万円の工事の場合

中間前払金1,000万円×0.065%▶ 保証料 6,500円

対象発注者、対象工事等につきましては、お気軽に当社へお問合わせください。

西日本建設業保証株式会社 沖縄支店

〒901-2131 沖縄県浦添市牧港五丁目6番8号(沖縄県建設会館3F)

TEL 098-876-1981 [営業時間(平日)] 9:00 ▶ 17:00

FAX 0120-441-455

西日本建設業保証  
<https://www.wjcs.net/>

検索



# 人材開発支援助成金の案内

人材開発支援助成金は、労働者の職業生活設計の全期間を通じて段階的かつ体系的な職業能力開発を効果的に促進するため、雇用する労働者に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練などを計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。企業の人材育成と労働者の職業能力開発のために、ぜひ、ご活用ください。

## 〈平成 30 年 4 月 1 日からの主な改正内容〉

1. キャリアアップ助成金の人材育成コース、建設労働者確保育成助成金の認定訓練コース及び技能実習コース、障害者職業能力開発助成金を統合し、助成メニューを7類型（特定訓練コース、一般訓練コース、特別育成訓練コース、教育訓練休暇付与コース、建設労働者認定訓練コース、建設労働者技能実習コース、障害者職業能力開発コース）に整理統合しました。
  2. 労働生産性が向上している企業について支給する割増助成成分について、特定訓練コースのみ、訓練開始日が属する会計年度の前年度とその3年度後の会計年度と比較する成果主義へ変更しました。
  3. 制度導入助成について、教育訓練休暇付与コースを新設するとともに、キャリア形成支援制度導入コース及び職業能力検定制度導入コースについては、平成29年度限りで廃止いたしました。
- その他詳細はHP ([http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html)) などでご確認ください

## 〈各コースの申請期限〉

○訓練実施計画（訓練様式第1号）

→訓練開始日から起算して1カ月までに提出するようお願いします。

例：訓練開始日が7月1日である場合、6月1日が提出期限

訓練開始日が7月15日である場合、6月15日

訓練開始日が7月31日である場合、6月30日（6月31日がないためその前日）

訓練開始日が9月30日である場合、8月30日（前月の同日が期限）

訓練開始日が3月29日、30日、31日である場合、いずれも2月28日（2月29日までである場合は29日）

※新たに雇い入れた被保険者のみを対象とした訓練等雇い入れ日から訓練開始日までが1カ月以内である訓練等の訓練実施計画書の提出期間については、訓練開始日から起算して原則1カ月前に提出するようお願いします。

※訓練実施計画書提出時において、提出が困難な添付書類がある場合には当該添付書類について訓練開始日の前日までに提出するようお願いします。

※申請期限について平成29年度と取り扱いが異なるのでご注意ください。

## 人材開発支援助成金

特定訓練コース	・労働生産性の向上に係る訓練 ・技能継承等の訓練	・雇用型訓練 ・グローバル人材育成の訓練	・若年労働者への訓練
一般訓練コース	上記以外の訓練		
教育訓練休暇付与コース	・有給教育訓練休暇制度を導入し、労働者が当該休暇を取得して訓練を受けた場合に助成		
特別育成訓練コース	・一般職業訓練	・有期実習型訓練	・中小企業等担い手育成訓練
建設労働者認定訓練コース	・認定職業訓練または指導員訓練のうち建設関連の訓練		
建設労働者技能実習コース	・安衛法に基づく教習及び技能講習や特別教育 ・能開法に規定する技能検定試験のための事前講習 ・建設業法施行規則に規定する登録機関技能者講習 など		
障害者職業能力開発コース	・障害者職業能力開発訓練施設等の設置等 ・障害者職業能力開発訓練運営費（人材費、教材費等）		

**お問い合わせ先**  
 沖縄労働局職業安定部  
 職業対策課 助成金センター  
 TEL: 098-868-1606  
 FAX: 098-868-1612

## 〔助成額・助成率〕 ( )内は中小企業以外の助成額・助成率

支給対象となる訓練	賃金助成 (1人1時間当たり)		経費助成		実施助成 (1人1時間当たり)	
		生産性要件を満たす場合		生産性要件を満たす場合		生産性要件を満たす場合
① 特定訓練コース ※						
Off-JT	760円(380円)	960円(480円)	45%(30%)	60%(45%)	—	—
OJT	—	—	—	—	665円(380円)	840円(480円)
② 一般訓練コース						
Off-JT	380円	480円	30%	45%	—	—
③ 教育訓練休暇付与コース	—	—	30万円	36万円	—	—

※認定実習併用職業訓練において、建設業、製造業、情報通信業の分野(特定分野)の場合は経費助成率を30%→45%、45%→60%、60%→75%へ引き上げます。

# Message ~後輩たちへ~

## いろんな事にチャレンジを!!

道路の案内標識や防護柵・区画線など道路の整備保全の仕事に興味があり、安全な道路をつくることで会社に貢献したいと思いました。後輩の皆さんには、何事にも興味を持ち、いろんな事にチャレンジしてほしいです。



「令和元年度与那原バイパス高欄設置工事」で主に安全管理と写真管理を担当していました。



南部農林高等学校出身

玉城 光太さん(20歳)

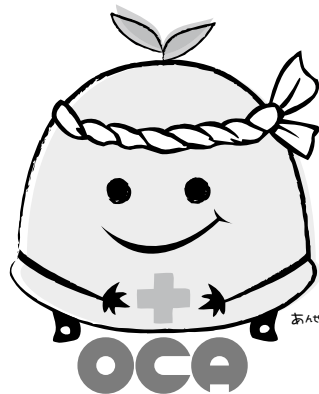
(國幸興發株式会社 工事部)

たまき・こうた／那覇市出身／2019年3月南部農林高校環境創造科卒業／2019年4月國幸興發株式会社入社

将来の夢：1級土木施工管理技士を取得すること

## 沖建協「見える化」イメージアップキャラクター 「あんぜんぼーや」を現場へ!!

### 地域と共に、未来を築く



Okinawa General Contractors Association

あんぜんぼーや

私たちは、沖縄県建設業協会会員です。



一般社団法人 沖縄県建設業協会  
Okinawa General Contractors Association



建設業界のイメージアップと沖縄県建設業協会会員の「見える化」を図るため、協会のイメージアップキャラクター「あんぜんぼーや」のシールを作成しました。(A4 サイズ、A3 サイズ)

協会会員が施工する建設現場の出入り口など人目に触れる機会の多い場所に貼って、協会会員であることを示すPR活動に使用してください。

追加が必要な場合は、所属支部窓口で配布します。

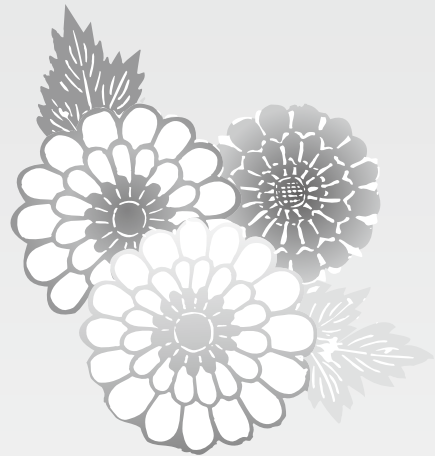
## 2020年12月の動き

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
1	火		・建設業振興基金「監理技術者講習」(浦添市)
2	水		・建設業振興基金「建設業経理事務士特別研修3級」～12/4(金)迄(浦添市) ・宜野湾市「職業人講話(講師派遣)」(宜野湾市) ・能開協会「後期技能検定委員辞令交付式及び調整会議」(那覇市)
3	木		・建設業振興基金「連携団体職員合同研修会」～12/4(金)迄(東京都) ・九建協「総務・経理担当職員研修会」(那覇市) ・沖縄県経済31団体「令和2年春・秋の叙勲・褒章・県功労者賞・沖縄タイムス賞・琉球新報賞 受賞者合同祝賀会」(那覇市)
4	金	・【中止】沖建協「高校生現場見学会(美来工科高校)」(名護市)	・全国土木技士会「国土交通省との意見交換会」(Web)
8	火	・沖建協、大同火災「工事総合補償制度運営委員会」(沖建協委員会室) ・沖建協「正副会長会議、役員会」(ハーバービューホテル)	
9	水	・沖建協青年部会「献血キャンペーン」(天久りうぼう楽市駐車場)	・経済団体会議「本会議」(那覇市) ・建退共本部「ブロック別加入・履行促進支部事務担当者会議」(Web会議) ・全国建産連「専門工事業全国会議」(東京都) 【荒天の為中止】総合事務局「道路啓開訓練(実働訓練)」(読谷村) ・九経連「沖縄連携フォーラム」(那覇市)
10	木	・沖建協青年部会「献血キャンペーン」(イオン具志川ショッピングセンター)	・建設業振興基金「監理技術者講習」(浦添市) ・全国土木施工管理技士会「事務局長及び実務担当者合同会議」(Web会議)
11	金	・沖建協「支部長会・事務局長会議」(沖建協委員会室)	・沖縄県「新型コロナウイルス感染症の影響に係る経済対策関係団体会議(幹事会)」(Web会議)
12	土		・沖縄県「新型コロナウイルス感染症の影響に係る経済対策関係団体会議」(Web会議)
15	火	・沖建協「総合的IT活用実践研修会」～12/17(木)迄(建労センター)	・沖縄県環境整備センター「定例取締役会」(那覇市)
16	水	・沖建産連「役員会」(建労センター)	・総合事務局「建設業社会保険推進・処遇改善沖縄地方連絡協議会」(Web)
17	木		・TEJ2020開催地連絡協議会「開催地連絡協議会兼開催応援団会議」(那覇市) ・能開協会「実践型人材育成訓練打ち合わせ会議」(那覇市)
21	月	・沖建協「新入社員育成訓練等並びに実践型人材養成システム大臣認定申請に係る説明会」(建労センター)	
22	火		・沖縄県畜産課「特定家畜伝染病にかかる防疫協定連絡会議」(那覇市)
23	水	・沖建協青年部会「県土木建築部との意見交換会」(県庁)	
24	木	・沖建協「建設業経理士1級(財務諸表)受験準備講習会」～12/25(金)迄(建労センター)	



## 2021年1月の行事予定

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
14	木	・沖建協「建設業経理士1級(原価計算)受験準備講習会」～1/15(金)迄(建労センター)	
15	金	・沖建協「役員会」	
18	月		・沖縄県生コンクリート品質管理監査会議(那覇市)
22	金		・建設業企業年金基金「代議員会」(浦添市)
28	木	・沖建協「建設業経理士2級受験準備講習会」～1/29(金)迄(建労センター)	



### [1月号会員の異動]

#### 代表者・所在地・組織等

ページ	支部名	会社名	変更事項	変更前	変更後
P23	南部	㈱呉屋建設	代表者	喜名 景太	呉屋 敏彦
P32	中部	平安座総合開発㈱	代表者	下條 義明	奥田 修
P39	北部	㈱北山建設	郵便番号 所在地	〒905-0427 今帰仁村字兼次128	〒905-0423 今帰仁村字平敷78

沖建協会報 2021年1月号(第608号)  
令和3年1月1日発行  
発行人 源河 忠雄

発行所 一般社団法人 沖縄県建設業協会  
〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8  
TEL.098(876)-5211  
FAX.098(870)-4565  
編集 株式会社沖縄建設新聞

# 建退共制度のご案内

この制度は、建設現場で働く方々のために、「中小企業退職金共済法」という法律により国が作った退職金制度です。

事業主の方は、現場で働く方々の共済手帳に働いた日数に応じて、掛金となる共済証紙を貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに、建退共から退職金を支払うといういわば業界全体での退職金制度です。

## I. 退職金の予定運用利回りの変更について

中小企業退職金共済法に基づき5年に1度検討を行うこととされており、今回、検討の結果、建退共の退職金の予定運用利回りが2.7%から3.0%に引き上げられました。

このため、退職金の額に関する政令が改正されました。

※平成15年10月1日以降の掛金納付があり、かつ平成28年4月1日以降に退職金請求事由が発生される者については、平成15年10月1日以降の掛金納付分についても3.0%の予定運用利回りが適用されます。

※掛金納付月数が12月以上24月未満の場合、退職金の額は掛金納付額の3～5割程度の額となります。

## II. 退職金の支給要件緩和について

これまで、掛金納付月数が24月未満の場合については退職金の不支給期間となっておりましたが、これが12月未満に緩和されました。(死亡による場合は12月未満で変更ありません。)

※平成28年3月31日以前に退職金請求事由が発生する方は従来通りとなります。

## III. 被共済者による移動通算の申出期間の延長について

建退共制度と中退共制度、清退共制度及び林退共制度との間を移動した場合、退職後2年以内であった通算の申出期間が3年以内まで延長されました。

## IV. 移動通算できる退職金額の上限撤廃について

これまで、移動通算できる額の上限を超える金額は差額給付金として被共済者に支給していましたが、その上限が撤廃され、全額が移動先の制度に移換できるようになりました。

## V. 電子申請方式の実施について

現行の証紙貼付方式に加え、証紙の電子申請方式が導入されます。

- ・R 2.10電子申請方式の試行的実施
- ・R 3.3までに電子申請方式の本格的実施(予定)

国の  
制度

5

つの  
特長

### 1 国の制度なので安全確実かつ簡単

退職金は国で定められた基準により計算して確実に支払われます。  
手続きはきわめて簡単です。

### 2 退職金は企業間を通算して計算

退職金は、A企業からB企業にかわっても、それぞれの期間が全部通算して計算されます。

### 3 国が掛金の一部を補助

新たに加入した労働者(被共済者)については、  
国が掛金の一部(初回交付の手帳の50日分)を補助します。

### 4 掛金は損金扱い

掛金は、税法上全額について、法人では損金、個人企業では必要経費として扱われます。  
(法人税法施行令第135条、所得税法施行令第64条1項第1号及び第2項)

### 5 運営費は国が補助

機構の運営に要する主たる費用は、国の補助でまかなわれますので、  
納めた掛金は運用利息とともに退職金給付に充当されます。

●お問い合わせは 〒901-2131 沖縄県浦添市牧港五丁目6番8号

**建退共沖縄県支部** 電話 098-876-5214

備えることは、  
守ること。



安い掛金、手厚い補償。

(障害7級まで)

# 建設共済保険

法定外労災  
補償制度

働く人の  
想いに応える、  
安心を。



「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

## 育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

## 労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ導入費用に対する助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

契約者と業界の発展のために

建設共済保険

検索

<http://www.kyousaidan.or.jp/>

公益財団法人  
**建設業福祉共済団**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー11階  
Tel.03-3591-8451 Fax.03-3591-8474

■ 取扱機関: (一社) 沖縄県建設業協会





# 無事故の 歳末 明るい正月

小笠風花

2020年  
12/1

火

2021年  
1/15

金

建設業年末年始

労働災害防止

強調期間

コードNo.760301

建設業労働災害防止協会

 建設業労働災害防止協会